ハイブリッドスポーツマフラー　実走行燃費テスト

GANADOR

GDE-140
GDE-141

第三者検証燃費テスト時も全く同じで行っています。 ＝

- 同じ距離を、同じアクセルワーク（同じ加速 / 同じスピード） / 走行時間も同じで対比テストを繰り返した結果です。
- 各セクションでの、設定速度までに達する時間も同一に管理。

対比の為マフラー交換後、再度走行

出発地点 → **往路** → **中間地点**

一般道路

高速道路

一般道路

登坂道路

中間ポイント

到着地点 ← **復路**

到着ポイント

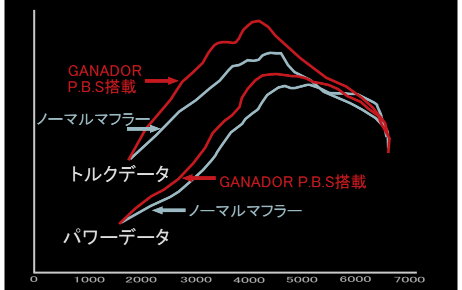
一般道路

高速道路

一般道路

降坂道路

Power：+7.1ps　Torque：+2.6kg/m



P.B.S効果のデータです。

※1 P.B.S（パワーブーストシステム）の詳細は弊社ホームページをご覧下さい。

※データは、当社シャーシダイナモでの計測値です。
※純正マフラーのデータ値は、車両個体差・気温・気候等の条件によりメーカーカタログ公表値とは異なる場合があります。
※比較データ値は、全て同じ条件下で計測しています。

業界雑誌 ランドクルーザーマガジン・クルーザーマインド・ワゴン誌その他で、多車種マフラーの燃費テスト第三者検証済み。
各燃費向上実証記事はGANADORホームページにてご確認頂けます。

総走行距離 152.1Km　一般道路 32.3km（21.2%）　高速道路 95.7km（62.9%）　山間道路 24.1km（15.9%）

エクストレイル（ガソリン）パワー / トルク / 音量 / 重量データ（社内データ）

装着マフラー	パワー（ps）	トルク（kg・m）	ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ音量（dB）	近接音量（dB）	重量（kg）
ノーマルマフラー	125.1	19.6	56.0	78.0	13.3
GANADOR P.B.Sマフラー	132.2	22.2	57.0	81.0	14.3

（上記はガソリン車のデータです。
ディーゼル車は同封の取扱説明書をご覧下さい。）

エクストレイル（ガソリン）燃費対比テストデータ（社内データ）

テスト日	天候	走行距離（km）	給油量（L）	燃費向上率
2010/5/26	曇り	152.1	12.81	・・・
2010/5/26	曇り	152.1	11.76	8.9% アップ

● ハイブリッドスポーツマフラー　5大特長

1. 燃費向上	今までのスポーツマフラーの概念を打ち破る、燃費向上（社内データ）を実現。車種別専用設計と膨大なテストデータから誕生。
2. パワーアップ	ノーマルマフラー対比7.1psアップ。パワーアップにより余裕ある運転ができ、さらには高速道路での胸のすくような加速感を体感できます。
3. トルクアップ	ノーマルマフラー対比2.6kg・mアップ。低回転からトルクを生み出し非常に乗りやすく、街中での発進や登坂路でのドライブが快適です。
4. 音量	各エクストレイル専用設計により、車両全体を包み込むような、非常に心地よい低音サウンドを奏でます。もちろん新規制対応の車検対応品です。
5. 製品品質	生産工程での品質管理はもとより、マフラー1本1本をシリアルナンバーで管理し、厳重な検査を行い出荷しています。

● 実走行燃費テスト方法・条件（ディーゼル車は、8.1%アップです。）

1.燃費測定方法
・給油量の記録（給油機による、自動停止方法を指定、給油量の記録）
※同一のスタンドにて、同じ車両の向き・同じタイヤ位置で停車し、全く同じ条件で正確に計測。
・走行距離は車載ｵﾄﾞﾒｰﾀの記録。（給油時にﾘｾｯﾄ、次の給油までの距離の記録）
・走行距離（Km）÷給油量（ℓ）で、燃費データを算出。

2.初期設定、走行条件
・フルノーマル車両/乗員は2名/エアコンON（25℃設定）にて計測。
・交通法規に準じ、一般道は道路状況の流れに合わせて走行、高速道は100km/h巡航とする。
・渋滞発生時などは、その場で中止し再テストを行う。

3.走行パターン（トータル性能を確保する為、走行条件を盛り込んだ設定）
・一般道32.3km（約21%）高速道95.7km（約63%）山道（登り/下り）24.1km（約16%）

4.すべて同一条件での対比テストを行う
・同一条件項目：走行距離・走行時間・アクセルワーク（加速/スピード）
・加速時の管理：各セクションでの、設定速度までに達する時間も同一に管理するのが重要。

**燃費対比テストは最も正確と思われる「満タン法」で計測しています。
検証される場合は、本リーフレットと同じ「満タン法」で行なって下さい。**

All Rights Reserved.